

# 四 半 期 報 告 書

(第71期第3四半期)

自 2019年10月1日

至 2019年12月31日

株式会社 **クワザワ**

# 目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報 .....	1
第1 企業の概況 .....	1
1 主要な経営指標等の推移 .....	1
2 事業の内容 .....	1
第2 事業の状況 .....	2
1 事業等のリスク .....	2
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 .....	2
3 経営上の重要な契約等 .....	3
第3 提出会社の状況 .....	4
1 株式等の状況 .....	4
2 役員の状況 .....	5
第4 経理の状況 .....	6
1 四半期連結財務諸表 .....	7
2 その他 .....	14
第二部 提出会社の保証会社等の情報 .....	15

四半期レビュー報告書

確認書

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	2020年2月14日
【四半期会計期間】	第71期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	株式会社クワザワ
【英訳名】	KUWAZAWA Trading Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 桑澤 嘉英
【本店の所在の場所】	札幌市白石区中央2条7丁目1番1号
【電話番号】	011-864-1111
【事務連絡者氏名】	常務執行役員経営企画部長 藤川 俊明
【最寄りの連絡場所】	札幌市白石区中央2条7丁目1番1号
【電話番号】	011-864-1111
【事務連絡者氏名】	常務執行役員経営企画部長 藤川 俊明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南1条西5丁目14番地の1) 株式会社クワザワ関東営業本部 (東京都千代田区神田紺屋町7番地 神田システムビル8階) 上記の株式会社クワザワ関東営業本部は、法定の縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供する場所としております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第3四半期 連結累計期間	第71期 第3四半期 連結累計期間	第70期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	69,926	69,259	92,834
経常利益 (百万円)	780	948	1,156
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	493	606	765
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	405	619	684
純資産額 (百万円)	12,745	13,553	13,023
総資産額 (百万円)	47,329	48,990	42,513
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	32.83	40.38	50.96
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	26.6	27.4	30.3

回次	第70期 第3四半期 連結会計期間	第71期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	19.99	19.53

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社および当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資の増加や個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の深刻化や不安定な国際情勢の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、公共投資並びに民間投資は堅調に推移しているものの、新設住宅着工戸数の減少が続いていることに加え、人手不足による労務単価の上昇や建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇が続いており、依然として楽観は許されない状況であります。

このような環境において当社グループは、顧客獲得に向けて営業力の強化と施工体制の拡充を推進したほか、非住宅部門への積極的な営業を展開するとともに、粗利益率の改善に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高692億59百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は7億94百万円（同22.9%増）、経常利益は9億48百万円（同21.6%増）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6百万円（同23.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 建設資材

住宅投資の減少などから売上高は479億22百万円（前年同期比1.3%減）となりましたが、セグメント利益は7億12百万円（同28.6%増）となりました。

#### 建設工事

売上高は180億71百万円（同0.1%減）となりましたが、セグメント利益は4億9百万円（同14.1%増）となりました。

#### 資材運送

売上高は29億36百万円（同1.5%減）となりましたが、セグメント利益は2億64百万円（同5.4%増）となりました。

#### その他

売上高は3億29百万円（同4.5%増）、セグメント利益は1億9百万円（同17.1%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ64億77百万円増加して489億90百万円となりました。流動資産は同66億71百万円増加して380億12百万円、固定資産は同1億93百万円減少して109億78百万円となりました。流動資産の増加の主なもの、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。固定資産の減少の主なもの、有形固定資産の建物及び構築物の償却による減少や無形固定資産ののれんの償却によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同1億47百万円減少して76億42百万円となりました。無形固定資産は、同64百万円減少して4億22百万円となりました。投資その他の資産は、同18百万円増加して29億13百万円となりました。

##### (負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ59億48百万円増加して354億37百万円となりました。流動負債は、同62億15百万円増加して316億61百万円、固定負債は同2億66百万円減少して37億75百万円となりました。流動負債の増加の主なもの、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。固定負債の減少の主なもの、長期借入金の減少によるものであります。

##### (純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ5億29百万円増加して135億53百万円となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の30.3%から27.4%となりました。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数（株）
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数（株） (2019年12月31日)	提出日現在 発行数（株） (2020年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,694,496	16,694,496	東京証券取引所 (市場第一部) 札幌証券取引所	単元株式数は100株であります。
計	16,694,496	16,694,496	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### ①【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ②【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	—	16,694	—	417	—	318

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,652,200	—	—
	(相互保有株式) 普通株式 49,700	—	
完全議決権株式 (その他)	普通株式 14,979,300	149,793	—
単元未満株式	普通株式 13,296	—	—
発行済株式総数	16,694,496	—	—
総株主の議決権	—	149,793	—

(注) 1 「完全議決権株式 (その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4,000株 (議決権40個) 含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式47株および相互保有株式65株が含まれております。

② 【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社クワザワ	札幌市白石区中央2条 7丁目1-1	1,652,200	—	1,652,200	9.90
(相互保有株式) ホクセイ産業株式会社 (注)	北海道北見市西三輪 6丁目1-2	40,000	9,700	49,700	0.30
計	—	1,692,200	9,700	1,701,900	10.19

(注) ホクセイ産業株式会社は、当社の取引先会社で構成される持株会 (クワザワ取引先持株会 札幌市白石区中央2条7丁目1番1号) に加入しており、同持株会名義で当社株式9,700株を所有しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,110	4,970
受取手形及び売掛金	※2 20,363	※2 25,081
商品及び製品	416	538
販売用不動産	1,001	1,320
未成工事支出金	2,209	5,559
原材料及び貯蔵品	55	73
その他	266	549
貸倒引当金	△82	△81
流動資産合計	31,341	38,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,597	3,457
土地	3,313	3,330
その他（純額）	878	854
有形固定資産合計	7,790	7,642
無形固定資産		
のれん	312	208
その他	174	213
無形固定資産合計	487	422
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	212	217
その他	2,819	2,830
貸倒引当金	△137	△134
投資その他の資産合計	2,894	2,913
固定資産合計	11,172	10,978
資産合計	42,513	48,990
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 12,148	※2 16,244
電子記録債務	※2 7,154	※2 8,195
短期借入金	2,880	2,030
1年内返済予定の長期借入金	290	290
未払法人税等	280	162
賞与引当金	220	85
完成工事補償引当金	33	32
その他	2,438	4,621
流動負債合計	25,446	31,661
固定負債		
長期借入金	2,286	2,068
退職給付に係る負債	85	89
資産除去債務	3	3
厚生年金基金解散損失引当金	224	224
その他	1,442	1,388
固定負債合計	4,042	3,775
負債合計	29,489	35,437

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	326	326
利益剰余金	12,384	12,901
自己株式	△446	△446
株主資本合計	12,680	13,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222	230
退職給付に係る調整累計額	△12	△10
その他の包括利益累計額合計	209	220
非支配株主持分	133	135
純資産合計	13,023	13,553
負債純資産合計	42,513	48,990

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	69,926	69,259
売上原価	63,848	62,965
売上総利益	6,078	6,293
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	2,684	2,679
その他	2,747	2,820
販売費及び一般管理費合計	5,431	5,499
営業利益	646	794
営業外収益		
受取利息	26	23
受取配当金	35	32
持分法による投資利益	32	34
雑収入	116	127
営業外収益合計	210	217
営業外費用		
支払利息	52	51
債権売却損	16	0
雑損失	7	12
営業外費用合計	76	63
経常利益	780	948
特別利益		
固定資産売却益	195	21
投資有価証券売却益	0	0
補助金収入	83	—
特別利益合計	279	22
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	107	1
固定資産圧縮損	82	—
投資有価証券売却損	0	0
投資有価証券評価損	14	—
投資有価証券清算損	—	4
その他	—	0
特別損失合計	204	7
税金等調整前四半期純利益	854	963
法人税等	357	355
四半期純利益	497	608
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	493	606

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	497	608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	8
退職給付に係る調整額	9	2
その他の包括利益合計	△92	11
四半期包括利益	405	619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	617
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	11百万円	43百万円

※2 四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権および電子記録債務の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形、電子記録債権および電子記録債務を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	1,074百万円	722百万円
上記のほか受取手形裏書譲渡高	0百万円	12百万円
電子記録債権（流動資産「受取手形及び売掛金」）	392百万円	393百万円
支払手形	388百万円	431百万円
電子記録債務	1,055百万円	1,167百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	314百万円	330百万円
のれんの償却額	104百万円	104百万円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	90	12	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

(注) 1. 1株当たり配当額には東京証券取引所市場第二部上場記念配当2円を含んでおります。

2. 2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月14日 取締役会	普通株式	90	6	2019年3月31日	2019年6月12日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には東京証券取引所市場第一部上場記念配当1円を含んでおります。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	48,532	18,098	2,980	69,611	315	69,926	—	69,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	965	400	486	1,852	62	1,915	△1,915	—
計	49,498	18,498	3,466	71,463	378	71,841	△1,915	69,926
セグメント利益	554	358	251	1,164	93	1,258	△611	646

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△611百万円には、セグメント間取引消去67百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△678百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	建設資材	建設工事	資材運送	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,922	18,071	2,936	68,930	329	69,259	—	69,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	812	216	436	1,465	63	1,528	△1,528	—
計	48,734	18,288	3,372	70,395	392	70,788	△1,528	69,259
セグメント利益	712	409	264	1,387	109	1,496	△702	794

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、太陽光発電事業、保険代理店事業および車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△702百万円には、セグメント間取引消去90百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△792百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3 四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1 株当たり四半期純利益	32円83銭	40円38銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	493	606
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	493	606
普通株式の期中平均株式数 (千株)	15,029	15,029

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

株式取得による会社等の買収

当社は、2020年1月20日開催の取締役会において、株式会社フリー・ステアーズの株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。

(1) 株式取得の目的

株式会社フリー・ステアーズは首都圏を中心にマンションの防水工事および塗装工事を主体とした大規模修繕工事を営んでおり、当社が取り組んでいるマンションの給排水管更新更生工事との相乗効果により、事業基盤の充実とさらなる成長が期待できることから株式を取得することといたしました。

(2) 買収する相手会社の名称、事業の内容、規模

- ①名称 株式会社フリー・ステアーズ
- ②事業内容 大規模修繕工事
- ③資本金 100百万円

(3) 株式取得の時期

2020年4月1日 (予定)

(4) 取得する株式の数、取得価額および取得後の持分比率

- ①取得する株式の数 2,000株
- ②取得後の持分比率 100%

※取得価額につきましては株式取得の相手先の要望により非公表としておりますが、第三者機関による評価額を基に適正価額を算出しております。

(5) 支払資金の調達方法および支払方法

自己資金により充当予定

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

2020年2月14日

株式会社クワザワ  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 板垣 博靖 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 林 達郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社クワザワの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社クワザワ及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	2020年2月14日
【会社名】	株式会社クワザワ
【英訳名】	KUWAZAWA Trading Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 桑澤 嘉英
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	札幌市白石区中央2条7丁目1番1号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南1条西5丁目14番地の1) 株式会社クワザワ関東営業本部 (東京都千代田区神田紺屋町7番地 神田システムビル8階)

上記の株式会社クワザワ関東営業本部は、法定の縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供する場所としております。

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長桑澤嘉英は、当社の第71期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。